

マーケット レポート

ベトナム市場のプラスチック業界の動き

今回はベトナム市場のプラスチック業界についてまとめてみました。同業種は業績も順調に伸び、外国人にも人気があります。当社でカバーしているプラスチック・セクター株は全部で6銘柄あります。下の表は、時価総額の大きい順にランキングしています。

主要な上場銘柄 (プラスチック業界) ~ 時価総額の大きい順にランキング

銘柄名(ティッカー)	取引所	株価(6/24)	発行済株式数	時価総額	筆頭株主	保有率	外国人保有率
ビンミン・プラスチック(BMP)	ホーチミン	146,000	45.5	6,639,858	SCIC	29.52%	48.99%
ティエンフォン・プラスチック(NTP)	ハノイ	64,400	74.4	4,789,281	SCIC	37.10%	42.27%
ランドン・プラスチック(RDP)	ホーチミン	29,000	18.1	525,881	個人	73.18%	0.44%
ドンア・プラスチック(DAG)	ホーチミン	12,300	39.9	490,644	個人	30.16%	2.38%
タンダイフン・プラスチック(TPC)	ホーチミン	7,100	21.3	151,010	個人	15.90%	1.68%
ダナン・プラスチック(DPC)	ハノイ	35,700	2.2	79,871	BMP	29.05%	1.50%

(データは、ブルームバーグ、ホーチミン証券取引所、ハノイ証券取引所、単位は、株価はドン、発行済株式数は100万株、時価総額は100万ドン、外国人保有率は6月24日)

時価総額の大きいのは、ビンミン・プラスチック (BMP) とティエンフォン・プラスチック (NTP) の2社です。共に外国人投資家の人気の高い銘柄です。

BMP と NTP の筆頭株主は、SCIC です。SCIC はベトナム政府の投資会社であるベトナム国家資本投資公社のことで、SCIC は、ベトナム株式市場で話題になっている公社です。

昨年10月、ブー・バー・ニン副首相は、SCIC に対し、投資企業10社の出資を全額回収することを認可しました。回収時期については、SCIC が個別に決定することになっています。

全株売却が実施されれば、不動株式数増加による流動性の改善が見込まれることに加え、外国人が保有上限まで保有している人気銘柄が多いことから、外国人に対する出資規制の緩和も期待されています。

そのリストに含まれる主要銘柄は、時価総額の大きい順に以下の通りです。

ビナムミルク (VNM)、FPT コーポレーション (FPT)、ビンミン・プラスチック (BMP)、ティエンフォン・プラスチック (NPT)、ベトナム国家再保険 (VNR) です。

SCIC の保有率は、VNM が 45.1%、FPT が 6.1%、BMP が 29.5%、NPT が 37.1%、VNR が 40.4% となっています。時価総額上位3社の VNM、FPT、BMP の外国人保有率は上限の 49% に達していますが、VNM と BMP は上限の引き上げを表明しており、SCIC の売却による浮動株の増加が期待されます。

一方、NTP の保有率は 42.27% で、外国人保有比率の 49% まで残りが 6.73% のように見えますが、現在の残りは 16.53% です。先週火曜日より、外国人の保有率の上限が、49% から 58.8% に引き上げられたためです。

主要な上場銘柄 (プラスチック業界) ~ 売上、純利益、PER、配当

銘柄名(ティッカー)	売上			純利益			PER	現金配当	株式配当
	2015年	2014年	伸び率(%)	2015年	2014年	伸び率(%)			
ビンミン・プラスチック(BMP)	2,797,614	2,415,553	15.82%	518,901	376,812	37.71%	11.09	6,000	-
ティエンフォン・プラスチック(NTP)	3,556,142	2,997,535	18.64%	366,157	325,046	12.65%	13.01	2,500	20%
ランドン・プラスチック(RDP)	1,130,770	1,079,625	4.74%	59,950	22,789	163.07%	8.14	-	24%
ドンア・プラスチック(DAG)	1,254,001	1,107,965	13.18%	40,394	29,565	36.63%	6.29	-	10%
タンダイフン・プラスチック(TPC)	707,016	741,824	-4.69%	10,580	11,734	-9.83%	14.57	600	-
ダナン・プラスチック(DPC)	81,615	77,455	5.37%	1,559	852	83.07%	39.57	600	-

(データは、ブルームバーグ、単位:売上、純利益は100万ドン、現金配当はドン)

またビンミン・プラスチック (BMP) とティエンフォン・プラスチック (NTP) は株主還元には厚い銘柄

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

主な事業 金融商品取引業

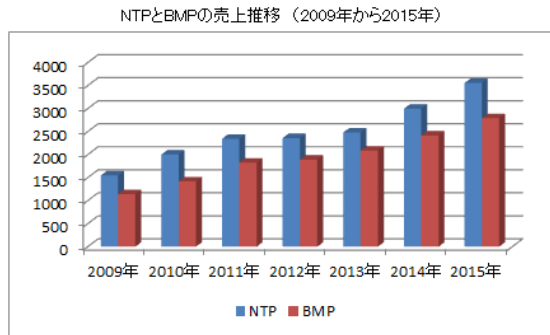
外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。ベトナム株式への投資には、取扱手数料(【対面取引の場合】約定代金×2.16%(最低手数料800,000ドン))、が必要です。外国株式の売買にあたり、円貨と外貨を交換する場合には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。

マーケット レポート

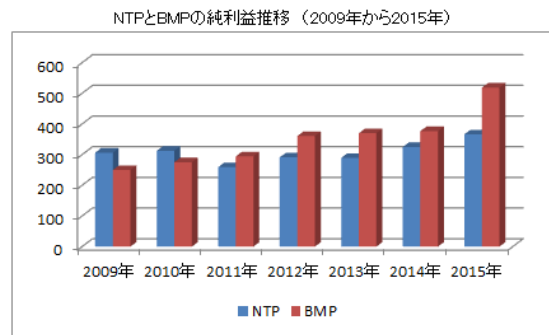
柄でもあります。

直近1年間の配当状況をみてみますと、BMPは現金配当が6,000ドン(6月24日現在で配当利回り4.2%)、NTPは現金配当が2,500ドン(同3.8%)、株式配当が20%(5株に対して1株の割当)となっています。

こうしたことを踏まえ、今回のレポートでは、BMPとNTPを取り上げます。

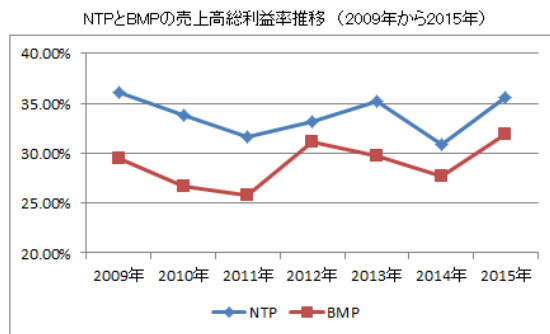


(データはブルームバーグ、単位は10億ドン)

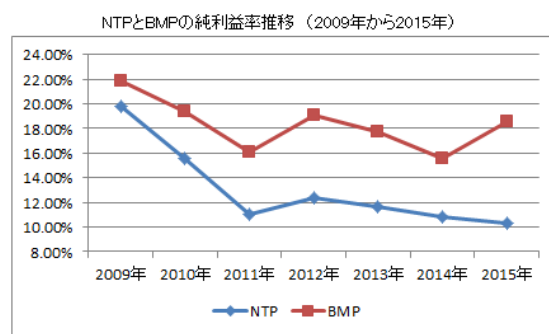


(データはブルームバーグ、単位は10億ドン)

直近7年間の売上推移をみてみますと、NTPがBMPを上回っていることがわかります。純利益の推移は、2011年以降は、BMPがNTPを上回る状況が続いています。



(データはブルームバーグ、単位は%)



(データはブルームバーグ、単位は%)

このことは、売上高総利益率と純利益率の推移をみますとよくわかります。売上高総利益率がNTPのほうが高くなっていますが、純利益率ではBMPのほうが大幅に高くなっています。

それでは、ビンミン・プラスチック(BMP)とティエンフォン・プラスチック(NTP)の個別の決算状況について考えてみます。

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】
 加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
 主な事業 金融商品取引業

外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。ベトナム株式への投資には、取扱手数料(【対面取引の場合】約定代金×2.16%(最低手数料800,000ドン)、が必要です。外国株式の売買にあたり、円貨と外貨を交換する場合には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。

マーケット レポート

ビンミン・プラスチック (BMP)

ビンミン・プラスチック (BMP) の2016年第1四半期及び2015年通期の収益計算書

項目	第1四半期			通期		
	2016年	2015年	伸び率(%)	2015年	2014年	伸び率(%)
	2016/3/31	2015/3/31		2015/12/31	2014/12/31	
売上高・営業収益	704,408	581,482	21.14%	2,791,614	2,415,553	15.57%
売上原価	432,920	404,268	7.09%	1,901,884	1,746,458	8.90%
売上総利益	271,488	177,215	53.20%	889,730	669,095	32.98%
販管費・その他営業費用	49,564	38,968	27.19%	221,934	196,889	12.72%
営業利益	221,924	138,246	60.53%	667,797	472,206	41.42%
税引前利益	216,896	137,482	57.76%	665,122	481,097	38.25%
純利益	198,312	108,133	83.40%	518,901	376,812	37.71%
EPS(ドン)	4,361	2,378	83.39%	11,410	8,285	37.72%
加重平均株式数(100万株)	45.5	45.5	-	45.5	45.5	-

(データはブルームバーグ、単位は100万ドン)

(会社概要)

ビンミン・プラスチック (BMP) は、民生用プラスチック製品の生産・販売を手掛けているプラスチック管メーカー。主要製品は、建設・民生用に利用されているポリ塩化ビニル (uPVC) 管で、2015年の売上の約90%を占めています。残りの約10%が、高密度ポリエチレン (HDPE) 管となっており、水道管や排水管として利用されています。

ベトナム・プラスチック協会によると、2015年のビニル管の国内シェアは約25%、特にベトナム南部地域のシェアは50%を超えています。

BMPの生産拠点は、南部 (ホーチミン市、ロンアン省、ビンズオン省) に3ヶ所、北部のフンイエン省に1ヶ所です。中部が手薄でしたが、ダナン・プラスチック (DPC) に29.05%出資しています。DPCの売上構成は、ポリ塩化ビニル管と高密度ポリエチレン管が約62%、高密度ポリエチレン製バックが約35%となっています。

DPCの取得計画はありませんが、BMPの中部地域での生産・販売の強化の鍵のひとつが、DPCの子会社化と考えられます。

筆頭株主は、SCIC (ベトナム国家資本投資公社) で、BMP株の29.52%を保有しています。

(2016年第1四半期決算の状況)

2015年通期の売上は前年比15.6%増の2兆7916億ドン、売上原価は同8.9%増の1兆9019億ドン、売上総利益は同33.0%増の8897億ドン、純利益は同37.7%増の5189億ドンとなっています。

高い市場シェアと製品のブランド力の強さから、売上総利益率は31.9%、直近5年間をみましても、30%前後で推移しています。純利益率は18.6%、直近5年間でみましても15%超えが継続しています。潤沢なキャッシュ・ポジションに加え、長期債務がなく、金融収支が良好なことが利益率を高めており、現金配当も継続的に年30%から35%の支払いを行っています。

2016年第1四半期の売上は前年同期比21.1%増の7044億ドン、純利益は同83.4%増の1983億ドンとなっています。大幅な増益となった理由は、繰延税金230億ドンの払い戻しを受けたことです。

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】
 加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
 主な事業 金融商品取引業

外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。ベトナム株式への投資には、取扱手数料(【対面取引の場合】約定代金×2.16%(最低手数料800,000ドン))、が必要です。外国株式の売買にあたり、円貨と外貨を交換する場合には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。

マーケット レポート

不動産市況の改善から建設資材の需要が押し上げられており、プラスチック業界に追い風が吹いています。2015年11月、ロンアン新工場の第1期工事が完了しましたが、現在、生産能力の拡大を図り、第2期工事が進められています。

年次株主総会で議決された、2016年の収益目標は、売上が前年比18.2%増の3兆3000億ドン、純利益が同3.8%減の5000億ドンとなっています。

(株価)

業績好調により、株価も堅調に推移しています。昨年と比べると株価は約2倍となっています。

ビンミン・プラスチック

日足チャート
2015年1月以降



ティエンフォン・プラスチック (NTP)

ティエンフォン・プラスチック (NTP) の2016年第1四半期及び2015年通期の収益計算書

項目	第1四半期			通期		
	2016年 2016/3/31	2015年 2015/3/31	伸び率(%)	2015年 2015/12/31	2014年 2014/12/31	伸び率(%)
売上高・営業収益	809,452	645,910	25.32%	3,556,142	2,997,535	18.64%
売上原価	513,747	437,042	17.55%	2,290,292	2,071,604	10.56%
売上総利益	295,705	208,868	41.57%	1,265,849	925,931	36.71%
販管費・その他営業費用	194,915	121,197	60.82%	832,896	526,806	58.10%
営業利益	100,790	87,671	14.96%	432,954	399,125	8.48%
税引前利益	92,430	80,496	14.83%	411,886	381,594	7.94%
純利益	83,250	70,700	17.75%	366,157	325,046	12.65%
EPS(ドン)	1,119	951	17.71%	4,763	4,370	8.97%
加重平均株式数(100万株)	74.4	74.4	-	74.4	74.4	-

(データはブルームバーグ、単位は100万ドン)

(会社概要)

公共工事、建設、工業、農漁業、交通運輸の各分野に民生用プラスチック製品の生産・販売を手掛けているプラスチック管メーカー。主要製品は、ポリ塩化ビニル (uPVC) 管、その他にも、ポリプロピレ

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】
加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。ベトナム株式への投資には、取扱手数料(【対面取引の場合】約定代金×2.16%(最低手数料800,000ドン)、が必要です。外国株式の売買にあたり、円貨と外貨を交換する場合には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。

マーケット レポート

ン (PPR) 管、ポリエチレン (PE) 管などがあります。

筆頭株主は、SCIC (ベトナム国家資本投資公社) で、NTP 株の 37.10%を保有しています。

(2016 年第 1 四半期決算の状況)

2016 年第 1 四半期の売上は前年同期比 25.3%増の 8095 億ドン、純利益は同 17.8%増の 833 億ドンとなっています。販売費・その他営業費用が同 60.8%増の 1949 億ドンだったことが、純利益の伸びを低下させています。

売上の約 70%を占めているのが、ポリ塩化ビニル (uPVC) 管です。2015 年は、原油価格下落により、原材料費が低下する一方で、製品の販売価格は相対的に低下しなかったことが収益増に寄与しています。純利益の伸びが低かったのは、同業他社と比べて、積極的に販売価格の割引を行ったことが影響しています。

(株価)

この銘柄も業績の伸びに比例して、株価も順調に上昇しています。

ただ NTP の株式を売買するうえでの難点は、流動性の低さです。上場市場が、BMP はホーチミン証券取引所、NTP がハノイ証券取引所と違うことが影響しているかもしれませんが、最大のネックとなっているのは、浮動株数少の少なさです。この問題は SCIC が保有している NTP 株の売却が実現すれば、浮動株が増え、流動性が改善する可能性があると考えています。

ティエンフォン・プラスチック(NTP)

日足チャート
2015年1月以降



プラスチック・セクターは、建設、不動産市場の改善から恩恵を受ける業界のひとつと考えています。

投資運用部 長友 哲郎

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】
加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。ベトナム株式への投資には、取扱手数料(【対面取引の場合】約定代金×2.16%(最低手数料800,000ドン)、が必要です。外国株式の売買にあたり、円貨と外貨を交換する場合には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。